



安心とするおのの下町「川の手」をめぐりて

防災 まちづくり 瓦版

発行ノ寺言問を防災のまちにする会

1993. 12. 1

三つども通リ 言問小学校前のデザイン固まる

三つども通りの言問小学校前は、電柱の移設工事も終わり、いよいよ路面などの工事を待つばかりとなりました。

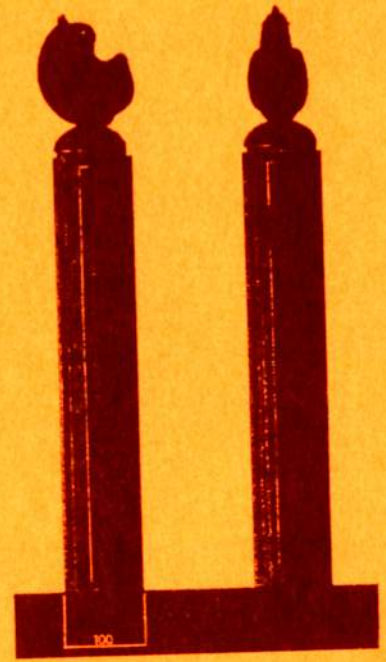
担当理事会ではその後も検討を重ね、道路のデザインについて考えてきました。「歩いて楽しい道に」、「路面にはつぎりの模様を」、「石畳のような舗装に」、「やわらかいイメージに」など、見た目の印象を大切にしたいという思いと「高齢者がつまづいたりしないものに」、「必要がある」とか、「石畳の目地にハイヒールのかかたが刺さってしまうのは困る」といった、歩きやすさを大切にしたいという思いを重ね合わせながら、具体的な絵を描いていきました。

ポラード(車止め)についても、「頭に都鳥を付けたい」けれども「尖った部分が多いと子供が引っ掛かって怪我をしやすくなるのではないか」という考えもあり、工夫が必要でした。

10月12日の担当理事会では大体の意見が出切り、具体的なデザインが固められました。路面はつぎりあずき色のブロック

を地に、その中に桜色のブロックで模様を描くことにしました。歩きやすさを考えてブロックは目地の小さいものを選びます。ポラード(車止め)は細い暗緑色のものに都鳥をイメージした丸みを持った飾りを付けることにしました。

現在、具体的な設計が進められており、工事は1月頃から始められ、3月いっぱいまでには完成する予定です。明るく楽しい道ができるまでお待ちを願っています。



◀ 都鳥をイメージしたポラード(車止め)デザイン (太さ: 直径100mm, 高さ: 750mm)



木桜色のブロック
うすあずき色のブロック

▲ 路面のデザイン — 同系色ブロックを使って

高田製菓菓跡地

9月8日と10月19日に担当理事会が開かれ、高田製菓跡地に建てる建物の検討をしました。建物については各担当理事それぞれが強い思いを持っているようで、様々な意見が飛び交いました。

そんな中で検討のポイントとなったのは、建物をどんな使い方をするのか、どのように管理するのかといった点でした。

まだ検討中

の2つです。管理は、直接区が行うのではなく、一言会に管理委託するという有季園方式を望む意見が多く、住民主体で活用できる施設となりそうです。



▲ 東京都の鳥にもなっている「都鳥」

私がまちづくりスタッフです

その30

向島五丁目
牧野さえ子さん
(一言会・理事)



生れも育ちも墨田区向島。結婚しても実家を手伝い、三年おきに三人の男の子を生んだ。母親役をしっかりとこなす。子育てを楽しむ余裕がある。七くなられたお父さんは、肉屋さんをやっていた。近所のおばさんからは、今だに「さえ子ちゃん」と呼ばれることが多い。

平成3年、母校である言問小学校のPTA会長になる。三十年ぶりの女性会長である。

「地域と学校のパイプ役になるのなら」と、まちづくりに参加した。三とも通りの担当理事会が動き始めた頃である。

「言問小の改築」という課題を想定して、地域開放型のモデル校、台東区の上野小学校に学校見学にも行った。言問小学校の前の道が、歩きやすい道に整備されることに決って、それ以来、おしゃれな舗道やポラードがあると写真にとってみたりした。

「言問小学校の前ばかりでなく、三とも通り全部が、きれいになるといい。」そう思っている。

牧野さんは、子供と学校のことに関心があり、五年前から「お母さんの勉強会」の代表になっている。母親心理学訓練講座という何やら、むずかしそうな講座を毎月、両国で開いているが、実際は、お母さんが集まって、子育ての話をする楽しい講座だそうだ。

(純)

いちごことい 一寺言問/防災まちづくり瓦版

第32号 平成5年12月1日発行

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・植竹モト
阿部羊一・明間 藤・中村淑子

編集協力/マヌ都市建築研究所

発行/一寺言問を防災のまちにする会・事務局
墨田区まちづくり事業推進部地域整備課内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)6261

墨田区主催の第5回都市景観フォーラムが、9月1日(水)に開催されました。「路地」をテーマに今回のフォーラムでは、午前中に、50名あまりの参加者が一寺言問・鐘ヶ淵・京島・両国の4コースに分かれ、それぞれの路地を見学しました。

一寺言問コースは、約13名の参加があり、一言会理事の佐原滋元さん、萩原昭作さん、高原純子さんの案内で約1時間半にわたって地区を見学して歩きました。

一寺言問に住んでいる人でも通り抜けたことのないような路地をみて、参加者はみんなミスティアス(?)な路地空間を満喫していました。

午後からは、区役所の会議室に戻って、路地のまちに住む「うち路地グループ」それ以外の「そと路地グループ」に分かれ、路地対談と題した座談会が行われました。

一言会からは、座談会のパネラーとして、佐原さんが参加し、「路地は社会的な共有スペースであり、無機質な単なる公共のみちとは違うのです。」と路地に住む人ならではの意見を述べられました。



▲座談会会場

一言会、墨田区で「路地対談」都市景観フォーラムに参加

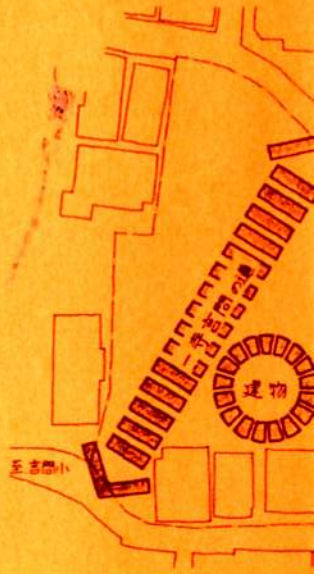


建物の周りに広がる広場の関係なども考えながら、「建物をここに置いて、屋根から取った雨水でここに池をつくらう」とか、「昼間はいつも誰か居て自由に出入りできるようにし、夜は鍵を掛けるようにしよう」などの意見が出されました。

これまで確認されたことは、

①一言会による防災まちづくりの活動拠点として位置づけること

②建物は広場の南側に、南北を結ぶ「一寺言問の道」を避ける形で配置すること(下図参照)



まだまだ検討しなければならぬことがたくさんありますが、一寺言問の一大事業なので慎重に時間をかけて取り組んでいく予定です。

アサヒビール寺島配送センター 返答のないまま 工事が進められる

堤通一丁目一番に計画されたアサヒビール寺島配送センターの建設は、予定通り9月1日に着工し、現在着々と工事が進められています。



▶アサヒビール寺島配送センターの工事風景

前号の瓦版でも紹介しましたが、一言会は、この計画に対して度々要望書を提出してまちづくりへの協力を呼び掛け続けてきました。そして7月14日には、さらなる要望書を提出する予定である旨をアサヒビールに伝え、9月1日付けで要望書を渡しました(実際にはアサヒビールとの接触がなかなかとれず、28日に渡しました)。

その後アサヒビールからは何の連絡もありません。一言会では、もう一度アサヒビールと飛鳥建設を理事会に招いて、現在行われている工事の内容や、要望に対する回答を聞き、一言会の考えを伝える予定です。

第3回 収穫祭



11月6日午後1時30分より、向島有季園にて収穫祭が行われました。内容は餅つきです。有季園の利用者の方を中心に50人ほどが集まりました。4升のもち米と2*のあんは、一言会の有志の方たちの寄付で、近所の和菓子屋さんから調達されました。あんの他に、持ち寄りのきなこやゴマ、納豆、大根おろしと、お餅の味付けメニューはにぎやかです。取材にやってきたNHKの人もお餅を味見。去年に引き続き、路地尊の水でいれたお茶がふるまわれました。



▲ 収穫祭が始まります。

◀ 利用者を代表し
金山さんがあいさつ



今年の夏は雨ばかりだったせい、有季園の緑もあまり元気がありませんでしたが、有季園利用者の皆さんの餅つきは威勢よく、こともお腹もおとなのお腹も十分に満足して、第3回収穫祭は大成功に終わりました。



▶ 重たいねび
お餅をつきます



◀ お餅からゆげが
たちあがります
臼の中をじっと
見つめて...



▲ 食卓あつまりにお餅をちまいます

▶ あんをからめてびきあがり



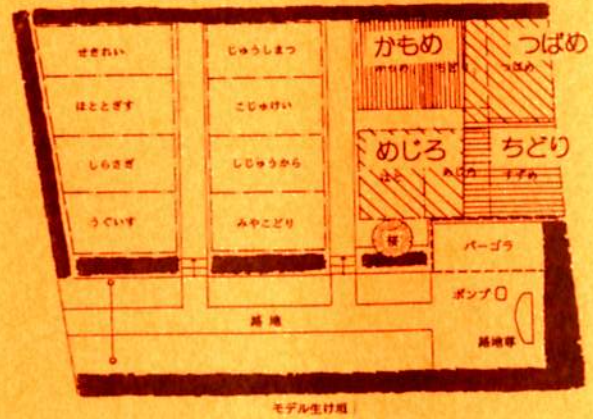
▶ お餅を食べていたら
かまきりを見つけました。
かまきりと一緒に
カメラにのっかって
ハイ、ポーズ



有季園利用者募集

利用期間が2年に!!

向島有季園の第6期利用者を募集します。今期は、利用者の強い要望があり、利用期間を1年から2年へ延長することになりました。平成6年3月1日から、平成8年1月31日までの2年間、有季園で野菜づくり・花づくりをしてみたいという方を求めます。利用期間の変更の他に、今期は区画の見直しも行いました。新しい区画は右図の通りです。



広くなった4区画
路地尊の横に位置する4区画が広くなりました。

利用者の条件は、一寺言問地区の住民であることです。有季園利用にあたって、一言会は利用者の方と利用協定を結びます。その内容は2年間責任をもって緑づくりを行うこと、年2回程度の利用者運営会議に出席すること、近隣に迷惑をかけることのないことの3点です。

希望者は、官製はがきに左記の応募券を貼り、住所、氏名、電話番号を記入の上、一言会事務局に申し込んでください。1家庭1口に限りです。1月31日消印有効。2月に公開抽選会を開いて選べます。抽選日は応募者に改めて通知します。

申込み先は

〒130 墨田区吾妻橋1-23-20
墨田区まちづくり事業推進部
地域整備課内
一言会事務局「向島有季園」係
TEL (5608) 6261

応募券
しり取り、2枚
書、貼、2枚



街角^旬ニュース

1 風邪からの守り神

今年、天候が不順だったため、風邪が流行るとか。弘福寺には「咳の爺婆尊」の石像があります。爺像は咽喉の病に、婆像は咳止めにご利益があるそう。(純)



2 一言主様へお参り

向島5の千穂講(講元・土屋市太郎さん、講中70名)は、茨城県水海道市の一言主(ひとことぬし)神社への参詣を続けています。今年も去る11月18日、35名の方が21年目の参詣をされました。(洋)



3 下町にも実りの秋 一言地区の中に、たくさんの秋の実りがみつかりました。(洋)



①さくら 向島5東・銀山さん方



②夏みかん 向島5東・松島さん方



③稲 向島有季園(向島5)



④ゆず 向島5東・千葉さん方



⑤柿 東向1中・須賀さん方



堤通一丁目
茂田新一郎さん

黄色い旗をふって11年。朝、冷たく張りつめた空気をゆるがすように、「ジー」と警笛の音が響きます。交通量の多い墨堤通り、登校する子供たちが、無事に横断歩道を渡れるように、茂田新一郎さんは、毎日、地蔵坂の交差点で黄色い旗をふります。

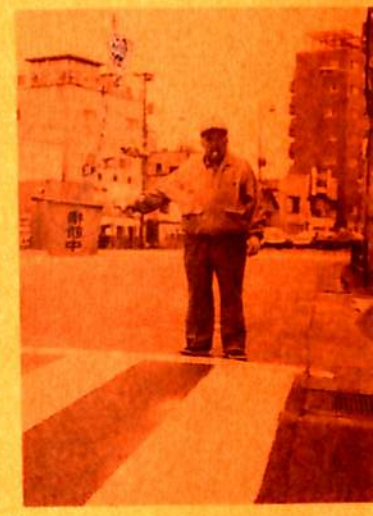
墨堤通り、地蔵坂通り、旧墨堤之道と道路は五叉路になっていて危険がいっぱい。一寺小学校と二寺小学校の通学路にもなっている。

雨や雪が降っても休まない。よりいっそう危険になるからだ。信号が黄色なのに突っ込んでくる車も多い。

——十年という節目で辞めようかとも思った。昔、怪我した足の古傷も痛む。子供会のお母さんが「今年もお願いします。」と頭をさげにきてくれる。それに子供たちも可愛いしね。

黄色い旗をくるくるっと巻いて帰ってゆかれた。

朝、7時50分、今日も茂田さんの元気な姿が見える。茂田さんの姿をみると安心するのは、子供ばかりでなく、大人もひよっとすると、毎日通るドライバースもそう思っているのかもれない。(純)



路地尊ノ水ヲ検査スルト...

路地尊の水の水質検査が行われました。結果は表の通りです。pH値と色素の数値が水道の基準を上回っていましたが、煮

沸等、消毒をすれば、飲むことができます。そうです。

平成5年7月18日検査実施

検体	項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	塩素イオン	有機物等	一般細菌数	大腸菌群	pH値	色度	濁度
雨水		1.5 mg/ℓ	10.5 mg/ℓ	3.4 mg/ℓ	10 個/ml	不検出	9.8	10 度	1 度以下
上水	水質基準	10 mg/ℓ 以下	200mg/ℓ 以下	10mg/ℓ 以下	100 個/ml	検出されないこと	5.6 ~ 8.6	5 度 以下	2 度 以下